2023年度

7 藤代研究室説明会

B4 田原宏都・松本悠弥





学生メンバ (今年度)

博士課程 6名













修士課程















学士課程 5名













学生メンバ (来年度)

博士課程 3名





修士課程

11名









現B3の皆さん

学士課程











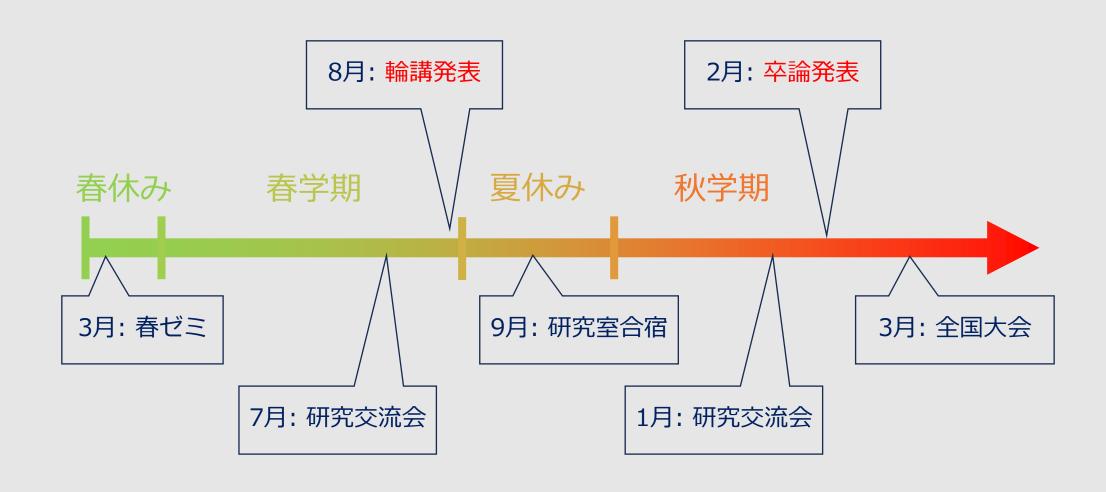








B4でやること:年間タイムライン





B4でやること: B4スケジュール

春学期									
	月	火	水	木	金				
1									
2		英語輪講		学問ゼミ					
3		全体ゼミ		学問ゼミ					
4				可視化特論					
5									

秋学期									
	月	火	水	木	金				
1									
2				英語輪講					
3		B4ゼミ		全体ゼミ					
4									
5									

◆ チームミーティング (隔週開催) チームメンバ&先生に研究の進捗報告・相談

B4でやること:B4スケジュール詳細

- ◆全体ゼミ(春・秋) メンバ全員参加、担当が自身の研究について報告
- ◆可視化特論(春)
 藤代先生の大学院の授業
- ◆B4ゼミ(秋) B4&メンタ(+a)参加、B4の卒業研究について報告・相談



B4でやること: B4スケジュール詳細

◆英語輪講(春・秋)

CG研究の英語論文を読む(各学期1本) 章ごとに担当を決め、毎週担当者が解説

+

先生による英語の授業

今年度は機械学習系論文2本

NeRF: Representing Scenes as Neural Radiance Fields for View Synthesis

Ben Mihlenhall^{†*} Pratul P. Srinivosoa^{†*} Matthew Taocin^{†*} Jonathon T. Borrou[†] Hort Bornomourtia^{†*} Hon Ng[†] [†]UC Bortoler [†]Cooste Raconch [†]UC San Diggs

Abstract. We present a method that adhieve state-of-the-art smaller or gratianing most board of marked waves by optimizing in anthology criticisms submitted waves from the property of a space at of layer for the contraction of the comparability of the contraction of the contract

Keywords: some representation, view synthesis, image-based rendering, volume resolvering, 3D deep borroung

1 Introduction

In this work, we ackiness the long-standing problem of view synthesis in a new way by directly optimizing parameters of a continuous 5D soons representation; to minimize the error of rendering a set of regreered images.

We represent the constant of the second of

* Authors contributed equally to this work.





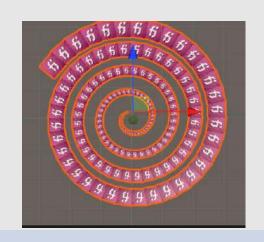
B4でやること:B4スケジュール詳細

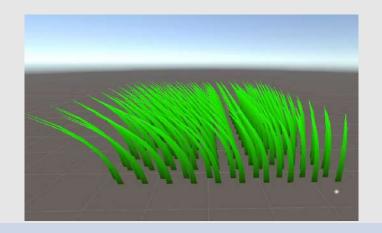
◆学問ゼミ(春)

Unityを用いてCG/可視化プログラミングの基礎を学ぶゼミ 毎週の任意の課題&最終課題としてアプリ制作

毎週の課題の例





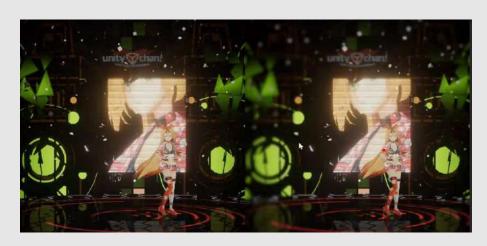




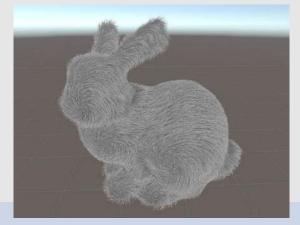
B4でやること:B4スケジュール詳細

◆学問ゼミ(春):最終課題:自分の研究に関連するアプリ制作











B4でやること:イベント

◆春ゼミ

春休み中に十数回実施する新B4研修ゼミ 新B4+M1で論文紹介 1人3回ずつ程度発表 論文調査・精読・発表の練習

◆研究交流会 東工大・お茶大・明治大と年2回交流





B4でやること:イベント

◆合宿

今年は2泊3日・長野県で開催

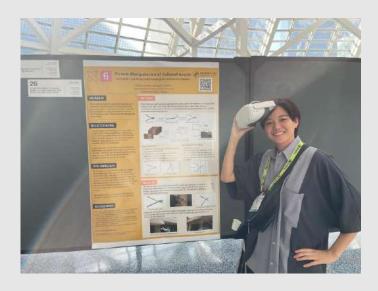




B4でやること:イベント

◆学会発表

卒業研究の成果を学会にて発表 B4では、情報処理学会全国大会・Expressive Japanなど 修士課程・博士課程では海外で発表することも







藤代研の良いところ

- ◆研究テーマが自由
 - ・自分のやりたい研究
 - ・OBの研究を継承
 - ・藤代先生の案を採用
- ◆相談しやすい環境
 - ・メンタ
 - ・チームミーティング
 - ・先生との個人ゼミ
- ◆研究費、機材
- ◆オンラインとのハイブリッド、柔軟性

質疑応答

気になることがあればなんでもどうぞ!

- ◆他の研究室との違いは?
- ◆研究室の雰囲気は?
- ◆B3のうちにやるべきことは?
- ◆希望者数が多いときの面接でどんなこと聞かれる?